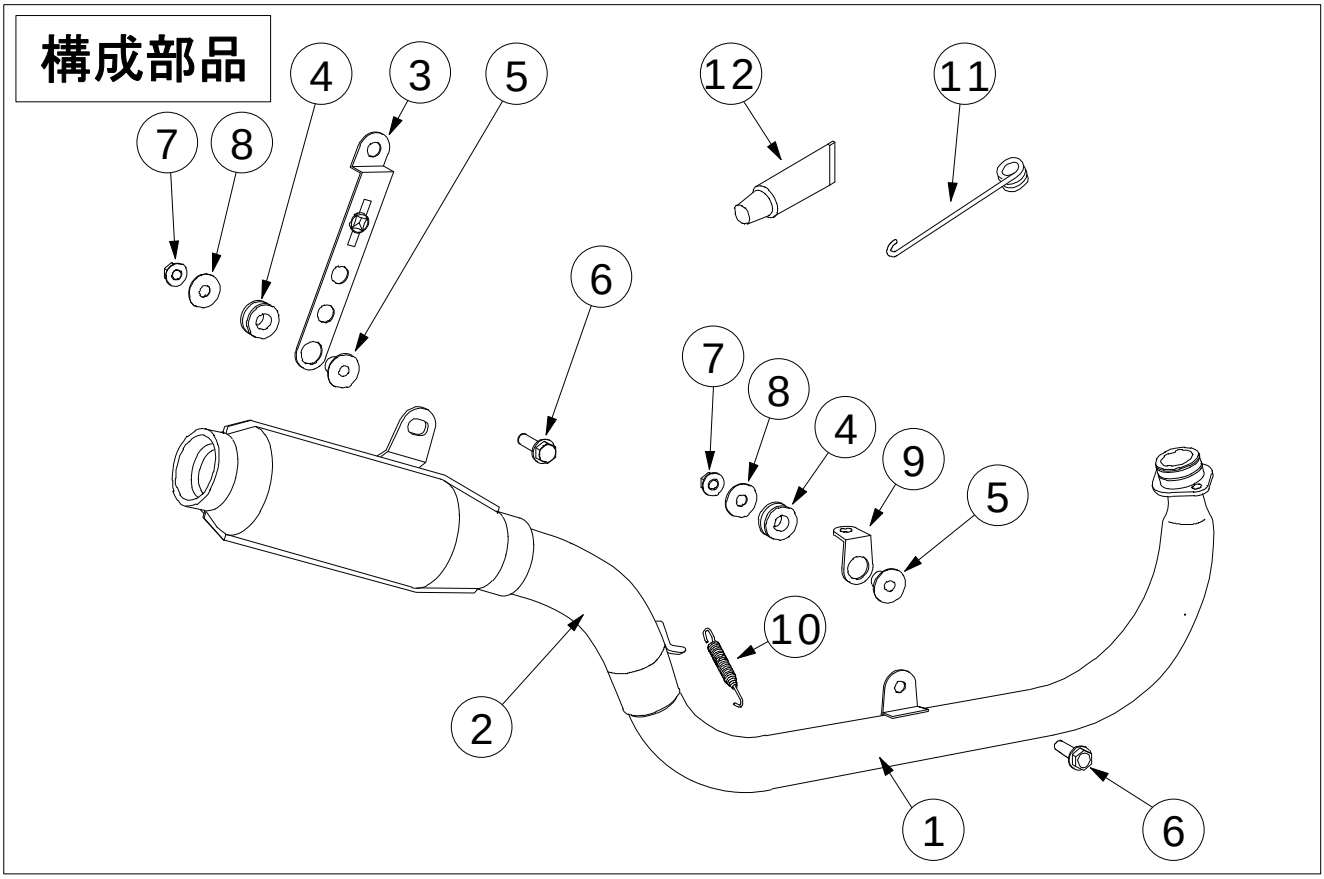
MORIWAKI MONSTER MONKEY

ホンダ　モンキーＺ５０Ｊ(80cc)

01810-D2180-00

作業される前に必ずお読み下さい



【パーツ一覧】

Ｎｏ	部品番号	商品名	入数	単価(税込)
1	18110-D2180-00	フロントパイプ COMP.	1	￥ 21,000
2	18210-D2180-01	テールパイプ COMP.	1	￥ 21,000
3	A40MS136-0000	マフラーステー	1	￥　638
4	0312-17250-DR00	グロメット	2	￥　294
5	0312-11250-F010	グロメットカラー	2	￥　336
6	96300-08030-00	フランジボルト８ｘ３０	2	￥　263
7	2100-080000-010	フランジナット８	2	￥　105
8	990002-08000	ワッシャー８	2	￥　189
9	1871-136-000	サブステー	1	￥　336
10	0A02-06009-FH20	スプリング	1	￥　210
11	03A32-00000-00T0	スプリングプラー	1	￥　210
12	860-806-0600	シールボンドＭＥ３０	1	￥　630
		取扱説明書	1	非売品

【製品名】モンキー　モンスター

【仕　様】《適応車種》　年式　　１９７４年以降

車種名　　モンキー、モンキーＢＡＪＡ、ゴリラ

フレーム型式番号　　Ｚ５０Ｊ

《排気量》　　８０ｃｃ

《推奨キャブレター》　　ケイヒン　ＰＥ２４φ

《その他》　　本品装着のままオイル交換可能

⚠ 注意事項

① マフラーは非常に高温になります。停車時には廻りに子供が遊んでいたり、狭い場所で人が触れないように 十分に注意してください。
② 作業するときエンジンを十分冷ましてからおこなって下さい。やけどするおそれがあります。
③ エンジンを運転させる場合は、換気の良い場所でおこなって下さい。
④ マフラー取付け時には脱落などのトラブルが発生しないよう、各部の締め付けを十分確認して下さい。また マフラーが各部と干渉していないか確認して下さい。

【準備物】

〈工具〉 １０、１４ｍｍメガネｏｒスパナ　　各１本
１２ｍｍメガネｏｒスパナ　　２本
トルクレンチ
〈その他〉 軍手、脱脂洗浄剤
マフラー交換の際は、エキゾーストガスケットを出来るだけ交換することをお奨めします。
ﾎﾝﾀﾞ純正部品　18291-HB2-900 ¥220(時価)

【作業工程】

《１．スタンダードマフラーの取外し》

① 作業するときは、けが防止のため、軍手を着用して下さい。

② 車体左側からエアクリーナーとキャブレターをつなぐインシュレーターバンドをプラスドライバーで緩め、アース端子が付いているボルトを外します。　（図１）

③ エアクリーナーをキャブレターから取外します。

④ マフラーを止めているナットを外し、逆の手順でエアクリーナーを取り付けます。
※ マウントボルトにアース端子を共締めすることを忘れないで下さい。
⑤ サイレンサー取付けナットを少し掛かっている状態まで緩めます　（図２）

⑥ エキゾーストフランジ（以下ＥＸ．フランジとする）のナットを２ヶ外します。（外したナットは、後で使用します。）
（図２）
⑦ サイレンサー取付けナットを外し、マフラーを外します。

図１

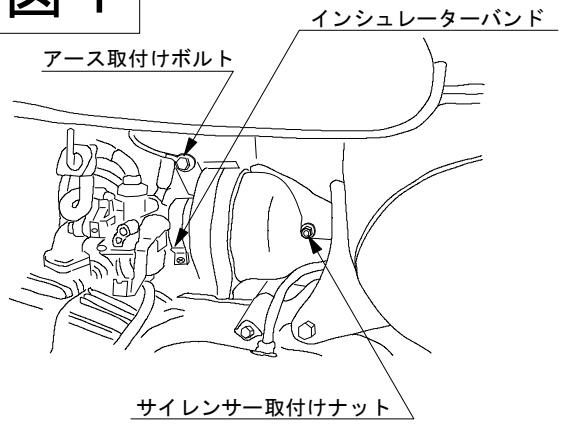
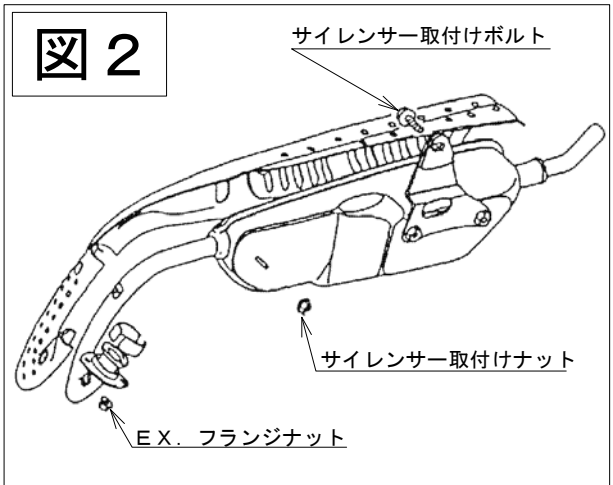


図２



《２．取付け準備》

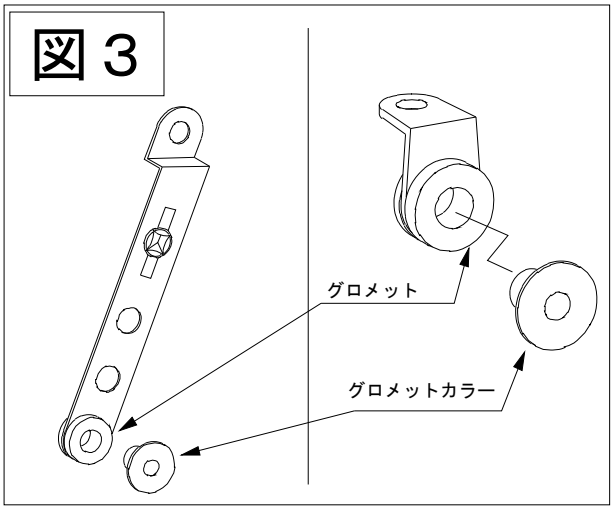
① マフラーステー、サブステーに付属のグロメット、グロメットカラーを取り付けます。（図３）

② 右側リアショック上部ナット、ワッシャーを外し、マフラーステーをナットで挟み、仮止めします。
（ワッシャーは、使用しません。）

③ ステップを固定しているエンジン下側のボルトを外し、サブステーをボルトで挟み、仮止めします。（図４）

④ テールパイプＣＯＭＰ．差し込み口にシールボンドＭＥ３０を薄く塗付します。（図５）

⑤ フロントパイプとテールパイプを差し込みます。



《３．モリワキマフラーの取付け》

① マフラーから傷を防止するためエンジンの下に段ボールか、古い毛布を敷きます。

② マウスピース側をエンジンのエキゾーストポートへ差し込み、ＥＸ．フランジをエンジンに仮止めします。
※ 左右均等に締めて下さい。

③ マフラーステーとサイレンサーステーを付属のボルト、ナット、ワッシャーで仮締めします。（構成部品図）
※ サイレンサーステーとマフラーステーが平行になる様にテールパイプＡｓｓｙを回して調整して下さい。

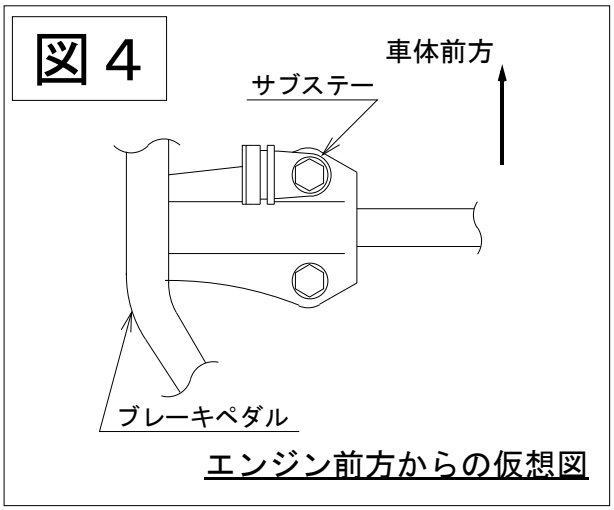
④ フロントパイプステーとサブステーを付属のボルト、ナット、ワッシャーで仮締めします。（構成部品図）

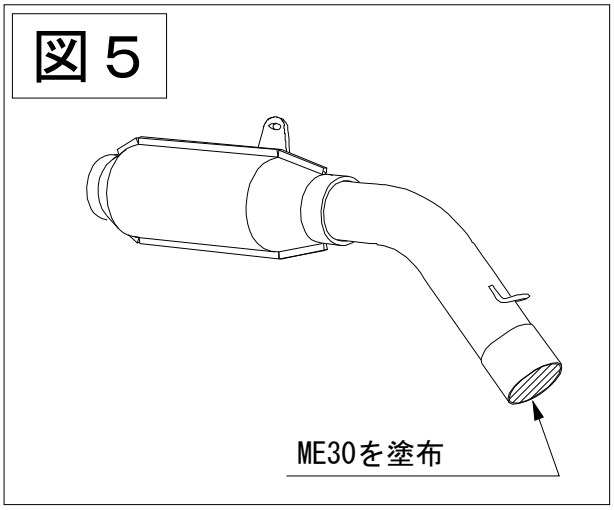
⑤ スプリングを取り付けます。

⑥ マフラー各部が干渉（サイレンサーとスイングアーム、テールパイプとブリーザーホースなど）していないか確認します。

⑦ 本締め順序は、
- ＥＸフランジ部（※左右均等に）
- 右側リアショック上部のナット
- マフラーステーとサイレンサーステー
- エンジンとサブステー
- フロントパイプとサブステー

の順で締め付けます。





推奨トルク	N･m	(kgf･m)
ＥＸ．フランジナット	１２	（１．２）
フランジボルト８×３０	２４	（２．４）
右側リアショック上部のナット	２４	（２．４）
エンジン下側ボルト	２４	（２．４）

《４．確認》

① エンジン始動前の確認
- 干渉している箇所がないか。
- 各ボルトの締め忘れがないか。
- 脱脂洗浄剤等でマフラーを拭き取って下さい。

② エンジン運転中の確認
（※マフラーの熱に注意して作業して下さい。）
ジョイント各部から排気漏れがないか確認します。

③ エンジン始動後の確認
（※エンジンの熱が十分下がってから作業して下さい。）
- 各部ボルト、ナットの緩みがないか。

※ サイレンサー後方部に水抜き穴がありここから水蒸気、水滴等がでる場合がありますが、性能上問題ありません。

【セッティングについて】

キャブレターは、ケイヒンＰＥ２４（エアクリーナー無）で性能が発揮されるように設計されています。
キャブレターセッティングについては、キャブレター商品のデータを参考にしてください。

【ＪＭＣＡについて】

全国二輪車用品連合会（ＪＭＣＡ）は、違法改造部品問題が直接の設立動機となり、警察庁をはじめ、運輸省、通産省の指導のもと、不法製品の一掃とその製品に歯止めをかける活動をしています。
「ＪＭＣＡ認定プレート」にて認可されたマフラーは、（財）日本車輌検査協会の公認検査を受け法規制値をクリアしたうえ、安全をみこした自主規制をもクリアした製品です。

【メンテナンスについて】

マフラー取付けボルトの緩み、排気漏れ、転倒による取付け不良などを定期的に点検して下さい。
走行による汚れにつきましては、市販のピッチクリーナー等をご使用下さい。
本製品は、装着したままオイル交換が可能です。

本説明書は末永く保管し、メンテナンス等の機会には、活用するようにして下さい。
製品上の問題点､取付け時の不明点等がありましたら､お気軽にお電話にてお問い合わせ下さい。

記載内容、価格、仕様等は、製品改良のため、予告なしに変更する場合があります。あらかじめご了承下さい。

株式会社モリワキエンジニアリング
〒513－0825 三重県鈴鹿市住吉町6656－5
TEL:059-370-0090 FAX:059-370-0152
HP http://www.moriwaki.co.jp